

令和6年度 第1回磐田市廃棄物減量化等推進審議会 会議録

【日 時】 令和6年7月26日（金）午後1時30分～午後4時10分

【会 場】 磐田市クリーンセンター 2階研修室

【出席者】 会 長 吉野 博行
副会長 松本 サチヨ
委 員 村松 せつ子 伊藤 とし江
今泉 佳代 清水 勇
磯部 良幸 伊藤 慎弥
渡邊 カルロス 鈴木 弥栄子
鎌田 俊己 三好 明
鈴木 瑠璃子 厚海 鍊太郎
大坂 晃之

順不同（15名出席）

【事務局】 環境水道部長、ごみ対策課長、ごみ対策課ごみ減量推進G長、
審議会担当職員2名

【会議概要】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 環境水道部長挨拶
- 4 委員自己紹介
- 5 役員の選出
- 6 議事
 - (1) 本市のごみ排出量の現状について
 - (2) 令和6年度の主な取組みについて
 - (3) その他報告事項
- 7 閉会

【意見・質疑の主な内容】

1 開会

〈事務局〉 皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

この廃棄物減量化等推進審議会は、一般廃棄物の減量や資源化の推進、適正処理に関する事等について、市民の代表の方々に審議していただくため、「磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」により設置されております。前任の委員の皆様の任期が本年6月末で満了となったため、今回、新たに15名の皆様に委員をお願いすることになりました。新たに役員が選出されるまでの間は、私の方で進めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

それでは、ただいまより、令和6年度第一回磐田市廃棄物減量化等推進審議会を開催させていただきます。

2 委嘱状交付

初めに、「委嘱状の交付」を行います。皆様の委員としての任期は、条例第12条第4項により、令和6年7月1日から令和8年6月30日までとなります。委嘱状については机上に置かせていただきましたのでご了承ください。2年間どうぞよろしくお願いたします。

3 環境水道部長挨拶

〈環境水道部長〉 環境水道部長の西山と申します。当審議会の議員を引き受けていただきまして誠にありがとうございます。また、ご推薦頂いた各団体様に対しましてもこの場を借りて厚く御礼申し上げます。皆さまにはこれから2年間、ゴミの減量・リサイクルの推奨等についてご意見をいただくこととなりますが皆様から頂いた貴重なご意見は衛生行政の推進ひいては当市の持続可能な柔軟な社会の構築へ繋げていきたいと考えております。今回は委員の半数が入れ替わっておりますが、この審議会がますます闊達となって有意義なものとなるように期待しております。2年間、どうぞよろしくお願いたします。

4 委員自己紹介

5 役員を選出

〈事務局〉 磐田市一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第25

条第2項によりまして、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議が有効に成立していることを、ご報告申し上げます。

次に役員を選出に移らせていただきます。会長・副会長の選任につきましては、条例施行規則第24条第1項に委員の互選により定めると規定されておりますので、皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

〈委員〉 《事務局に一任》

〈事務局〉 ただいま、委員から事務局一任とのご意見がありましたが、いかがでしょうか。

〈委員〉 《異議なし》

〈事務局〉 それでは、事務局から会長・副会長の人選についてご提案させていただきます。

会長には、前回まで当審議会では会長を務められた自治会連合会の吉野博行委員が適任かと存じます。また、副会長には、消費研究グループいそじ会の松本サチヨ委員にお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。

〈委員〉 《異議なし》

〈事務局〉 ご異議がないようですので、会長には磐田市自治会連合会の吉野博行委員に、副会長には消費研究グループいそじ会の松本サチヨ委員にお願いいたします。それでは、会長、副会長の席へお移りいただきますようお願いいたします。

それでは、吉野会長よりごあいさつをお願いします。

〈会長〉 ただいまご指名いただきました吉野博行と申します。よろしく申し上げます。今年度も会長を引き続きつとめさせていただきます。自治会連合会としても施設の見学をしたり、日々環境整備活動に尽力しております。自治会だけでなく住民1人1人のご理解、ごみの排出方法ならびに資源ごみ等々集積場の管理、これらが次世代の明るい良好な環境を保つことに繋がるのではないかなと考えております。令和8年6月30日までの2年間よろしく申し上げます。

〈事務局〉 それでは、松本副会長よりごあいさつをお願いします。

〈副会長〉 これからの2年間、子ども達に綺麗な環境を残せるよう、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。ここに座っているという重みを感じておりますが、どうぞよろしく願いいたします。

〈事務局〉 ありがとうございます。審議会の進行については、磐田市一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第25条第1項により、会長が議長となりますので、以後の議事進行につきましては、吉野会長よろしく願いいたします。

6 議事

- (1) 本市のごみ排出量の現状について
- (2) 令和6年度の主な取組みについて

《 (1) ～ (2) を事務局より一括して説明 》

〈会長〉 事務局からの説明につきまして、一括して委員の皆さんからご意見やご提案をお願いしたいと思います。

〈委員〉 一人一日あたりのごみ排出量を見て、最初のごみ総排出量に何が含まれるのかよく分からず、教えてもらえればと思います。

次に資源化率の古紙等資源集団回収及び拠点回収量です。これにはどういったものが含まれているのでしょうか。続いて戻りますが令和13年一人一日あたり目標666gとありますが、浜松市でごみ回収の有料化を検討されている中で目標値が404gで、それに対して磐田市が666g、1.5倍ありますが、それは同じ条件なのでしょうか、違う条件ではないのかと思うのですが、それについても教えてほしいです。

あとはリサイクルステーションです。引っ越しシーズンや年末の大掃除のシーズンに混むのではと思いました。もう少しリサイクルステーションの開設を、年間の中で増やしてくれるような、毎週この曜日にといいわけではなく、イベントの時には増やしていただくと市民の皆様のリサイクル意識が継続するのかなと思いました。

最後にごみの堆肥化、僕は助かっていますがたまたま僕の家には庭があり、家庭菜園をやっていて、荷物を置く場所があります。例えば

このような環境のないマンションや庭が無いという方々は堆肥化事業に興味を持ってないのではないかなと思うので、そういう人達にも生ごみ削減に参加できるような取り組みができるといいなと思います。

〈事務局〉

ご意見ありがとうございました。ごみ総排出量に含まれるものは？ということで、ごみ総排出量の内訳ですが定期収集で皆さんのご家庭から回収している9品目、可燃ごみと空き缶、空き瓶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、金物の小型電化製品、有害ごみ、廃食用油、それと中遠広域粗大ごみ処理施設に回収している埋め立てごみ9種類になります。あと直接中遠に搬入されておりますパソコン、金物・小型電化製品と常設のリサイクルステーションに持ち込まれております空き缶、ガラス陶器、使い捨てライターなどとクリーンセンターに個人で搬入されている可燃ごみなどが含まれます。

2点目の古紙の件ですが市内の6拠点に絞って回収量を報告頂いていて、その数値だけを反映させています。またカインズホーム、ジャンボエンチャーでのコンテナ回収もその6拠点とは別に定点ということで4店舗分を報告してもらったものを反映しています。PTAの回収量ですが、集団で回収したものについても入っています。

次に3点目の浜松市で実施されているごみ削減運動の目標値が、磐田市と違うのではないのかというご質問でしたが、環境省で毎年実態調査というのを行ってございまして全国的な調査になります。その一人あたりの排出量の数値だと思われまして。この同じ数値で磐田市を比べてみますと同じ令和4年度は465gとなりますので485gと465gということで浜松市の方が磐田市より少ないというわけではないと思われまして。

次に4点目のリサイクルステーションの開場についてのお話でしたが、過去の審議会でも同様のご意見を頂いております。今年度日曜日を1時間延長し、祝日も開場することで変更しました。これからの混雑状況など様子を見ていきたいと思っております。

5点目のコンポストの件です。コンポストもいろんなタイプのものがあり、畑に埋める土中タイプのものから堆肥の液を絞るようなぼかしタイプのもの、バック型、リュック型などもあり、その中でもこちらのバック型コンポストはベランダでも使用できるというものでマンション住まいや庭の狭い方にもご利用いただけます。なかなかこういった情報が足りていなかったのかなと思ひまして今年度の取り組みで、家族構成ですとか生活タイプに合わせたものを選べるようにコ

ンポストの種類を紹介するようなホームページを充実していく予定です。

〈委員〉 徳島県にある上勝町では、2003年に世界に向けてゼロウェイスト宣言を行っているそうです。人口千数百人の町です。こちらに家族旅行もかねて行って来たことがありました。ここでの分別の取り組みが結構面白く、四十数分別でやっていて、捨てる時にごみを捨てたらいくら出ていくというようなわかりやすい表示があり、すごく面白い取り組みだと思いました。当然このようにごみを削減したり循環型社会にしたり、世の中の流れに則って進んでいると思うのですが、ゼロウェイスト宣言のように対外的に磐田市として環境や循環型社会について何か発信しているものとか大きな目標とか数字とか抽象的でもこういった市や町を目指していますというような宣言があれば教えてください。

〈事務局〉 磐田市は、2050年にゼロカーボンシティを目指し、ごみの量としては一人一日あたりの排出量 666g を目標としています。なるべく市民の方にわかりやすくなるよう広報紙づくりを目指しております。あと、経費的なことで上勝町ではごみを減らすことによって、経費がいくら減るといった表現で分かりやすくしているということですが、リサイクルすることによって逆に経費がかかるということもあるので難しい部分があります。当市においては今後も引き続き、ごみ減量への啓発に力を入れていきたいと思えます。協定でも静岡ブルーレヴズと締結できたのでホームゲームや、サッカーのまちということでジュビロのホームゲームでもごみの減量のPRをしてみたり、市民にもう少し前のめりに周知できるような活動を職員皆で考えながら、小さなところから、知恵を出しつつ進めていきたいと考えています。

〈委員〉 一市民としてお伝えしたいのは、いろいろな取り組みをしていただいて本当に環境が良くなっていると私は思います。働いていると土・日でないと思うようにごみが捨てられない状況です。捨てられないと全部可燃ごみに突っ込んで捨ててしまう人も多いと思うのですが、私の地域では、なかなか厳しく、不適切なものはごみ置き場に置かれてしまう。それで自治会の中で名前が書いてあるので、ごみを出した人は自分で取りに行かなくてはならない。それでもう一度中身を確認して分別して出し直してという事をやっている地域です。リサイ

クルステーションにもシルバーの方がいて聞くと教えてください。状況です。イベントでの啓発などすごくいいなと思うのですが、実際磐田市長の発信も効果的だと思うので2050年、排出量666g、数字的にも覚えやすいですし、頭に刷り込まれていくかなと思います。最後に1つ提案としては、レブズとかジュビロとかイベントをやられる際にも市内のジュビロマラソンなど、やっぱりイベントの時にはごみが出やすいと思います。最近マラソン大会を実施している県ではごみゼロなどの取り組みをされていることもありまして、実際TRUE認証というアメリカの制度があるのですが、ごみを一切出さない環境に負荷のないイベントを行いました。TRUE認証をイベントの時に取得をされてもいいのかと思います。実際にこういうものがあれば市民の意識も変わってきますし、ジュビロマラソンでもできるだけマイボトル、ペットボトルを使わないとか、できるだけ市民と接する場で刷り込んでいけばいいと思います。

〈事務局〉

ありがとうございます。日曜日のリサイクルステーションですが、今年度、日曜日の時間を1時間延長し、祝日も延長してみたということで去年の利用を見ると休日の利用が増えていました。やはり休みの日に利用したいという方が多いです。今後も時間を伸ばしたり、日数を増やしたことについて、利用状況を見ていきたいと思います。

それからリサイクルステーションの案内ですが、いろいろ分別を丁寧になるべくわかりやすく市民がごみを捨てやすいリサイクルステーションになるようにこれからも心掛けていきたいと思っています。それから、一人あたりのごみ排出量、666gその目標の数値、こういったものも色々な機会に発信していきたいと思っています。イベントなどのご意見は今後も参考にさせていただきたいと思っています。ありがとうございます。

〈委員〉

すみません。個人的なことで資料を半分ぐらいしか読んでいないのですがかなりの説明する資料、非常に多いかと感じます。その中で一つ提案したいのは、ガイドブックが細かくて分かりにくいです。もう一つ、企業と提携するのであれば、広報いわとかスポーツ磐田だとかバラバラではなくて1つにして出せば紙ベースの物が減るのではないかと思います。資料を配布するにしても単純明快の資料が必要かと思っています。

〈事務局〉 ごみ対策課としては、一番まとめたものとして3年に一回になるのですが、家庭ごみ分別ガイドブックに一通り分別の方法をまとめています。これでもかなり多いのですが分別をするという事は、どうしても細くなるので覚えてしまうまでは大変ですがこちらを見てご協力をお願いします。

〈委員〉 質問です。2点あります。プラスチック製品のことなのですが現在可燃ごみとしてプラスチック製品、つまり容器包装以外のその他プラを集めて、可燃ごみとして焼却されているのでしょうか？というのが1つ。2点目は災害廃棄物の処理についてです。豊岡の仮置き場で非常に磐田市の対応が迅速で高評価の話も聞きまして、非常にうれしく思いました。記述の話ですが、前提として大雨も大災害という事で処理すると、大災害時に仮置き場の管理は、自治会がやるということになっていますが、多分できないと思います。結局、市から委託をして建設協会がやるとか産廃協会がやることになると思うのですが、この記述だと、仕分け等も管理も自治会が行うというように読めます。そこが市として考えている仮置き場の管理、自治会の関わり方という点でどうしてももらいたいのかという点が分かりにくいです。

〈事務局〉 まず1点目、プラスチックの件ですが、容器包装プラスチックはすでにリサイクルしております。それ以外の燃えるごみに入れているプラスチックという事なのですがプラマークのないごみは、たとえば歯ブラシ、これらは燃えるごみに入れることが多いかと思えます。これらは今現在燃やしています。これからは一括で歯ブラシなどのその他プラもリサイクルできるように考えていかないといけない、そうしていきましようということになっています。あと大きな衣装ケースのようなプラスチックや集積所に出せないものはクリーンセンターに持ち込んでもらいます。こちらは今年の3月頃から破碎して、リサイクルにわずかですが売却して資源化するようにしました。

2点目の災害廃棄物の仮置き場なのですが、委員の言うとおりの、大きな災害の仮置き場は市の方で各種団体などの力を借りながら管理をしていきます。2年前の豊岡の災害の時にも地域で仮置きする場所が出来て、分別されずに置かれたことが2か所ありましたので、地域の方になるべく地域仮置き場まで持って行けないような一時的なごみ置き場が作られるのだったら、分別して置いてくれば後で市が回収に行きますということで簡易的な表示を、自治会長さん中心にお願い

いし、大きな仮置き場と小さな仮置き場を2通り考え方を分けてやっていくということです。

〈議長〉 今、大規模災害時のごみ収集が各自治体に管理をお願いするのは難しいから、一応ごみ対策課で分別の表示を作成して、準備はしてくれてあるということでありありがとうございます。ただ、各自治体の公会堂に並べるとするのは難しく、万が一の場合は用意してくれたものを使うということで自治会としては対応しております。

〈委員〉 いろいろと提案したことを対応してくださりありがとうございます。またコンポスト講座の開催もありがとうございます。私も市民団体にコンポストを作っているのですが、今回は小学生がいる親子向けでしたので、今度は一般の人向けにもこういう講座をやっていただきたいと思いました。もう一つは、先程も出ていたのですが、せっかくコンポストをやっても出来た肥料を自分では使えないという人がいると、なかなか利用を広めていくのは難しいと感じます。引き取ってくれる情報を市で発信してもらえると、もっと広まっていくのかと思いました。また、4ページの一人一日あたりの排出量ですが、去年が682g、13年度が666gになっていて、令和6年度は718g。もしかしたらこれから減るかもしれないとなると666gに近づいていくことができるのかと思ひまして、現在1年ごとに出していますが、3か月、半年の時点で、「今、磐田市一人一日当たり何グラムです。今年度の目標は〇〇gなのでみなさん頑張りましょう。」達成できてたら「この調子でやっていきましょう」みたいな発信を、公式ラインで発信していただけたらたくさんの方が目にすることができるのかと思いました。また検討してください。お願いします。

〈事務局〉 まず1点目のコンポスト講座で今回、親子向けの講座をやりましたが、今後、できれば一般の方対象も検討をしていきたいと思っております。それからコンポストの施設、委員の意見を参考に今後、検討していきたいと思ひます。ありがとうございます。それから一人一日あたりのごみの排出量ですが、令和5年度、682gということで今回は減りました。ですが、昨年度は721gでその前の716gから増え今回は減りました。昨年度は721gと、台風の災害等の理由で増えました。このように増えたり減ったりしながら今後は目標に向けて進んでいくと考えています。上下しながら減っていくというイメージで今後の

様子を見ながら最終の目標値の変更は現段階では考えていません。それから一人一日あたりのごみの排出量について、周知方法ですがホームページ以外も発信してほしいということでしたが、その辺は分かりやすくなるような動画の作成について、一昨年、外国人対象のごみ分別動画を作成し活用しています。今後も定期的に分かりやすい動画の作成を検討していきます。ごみ分別ガイドブックについても、ご意見を参考に状況を見ながら検討していきたいと思ひます。

〈委員〉 すみませんがもう1つだけ、コンポストの件ですが、高齢者の方のお宅では生ごみが入ると重くなるのでごみ出しが大変だと思います。コンポストを使用するとゴミが軽くなると皆、言っていたので、ごみ出しが無くなるよと講座を開催しても高齢者だとクリーンセンターへ来てくださいと言ってもなかなか行けないので、出来たら公民館など身近なところで出来たらうれしいと思ひます。

〈事務局〉 ご意見ありがとうございます。他の委員からもコンポストの話が出て、地域でやっていただけたら、それを側面的にごみ対策課がこの地域でこんながあると情報を流していくなど、うちが主催で各交流センターに行くのは難しいと思ひております。コンポスト講座等、反響をもらっているので、そんな形でやっていただけたら協力していきたいと思ひます。あとマッチングのようなコンポストで肥料を作ったけど使えない、そんな問題の解決には、磐田市の中では、いーわいわたのみんなの掲示板など、なんでも載せられる掲示板があるのでコンポストに関する情報、LINE 発信についても担当部署と相談しながら前向きに検討していきたいと思ひます。良いご意見ありがとうございます。

〈委員〉 昨年度、ごみ分別の動画を作成頂きましてありがとうございました。こちらの動画が外国人情報窓口で外国人が入国、転入してきた際に見せています。ごみの分別に関するいろいろな情報が得られるのではないかと思ひています。今後も活用していきたいと思ひます。2つお聞きしたかったのですが1つ目は同じような動画ですが、今年度も作成していただけるのかということとその周知です。今は、磐田 TV の方で放送していると思うのですがこれ以外で掲示していただけるのか2つの質問です。

〈事務局〉 動画を今後も作成するのか？についてですが、今年度につきまして、外国籍の方の 80%をブラジルとフィリピンとベトナムの方が占めています。そこを対象にした言語の動画を昨年度作りましたが、今後は内容にあまり変更がありませんので、変更が生じましたらまた作りたと思います。まずは、昨年度作ったものを活用していきたいと思います。それから動画の掲載先ですが現在、YouTube でいわた TV に掲載をしております。その他 Xの方で外国人窓口で動画を上げていただきましてありがとうございます。また、その他の動画掲載先があれば、ぜひやっていきたいと思っております。いろいろ教えていただければと思います。よろしく申し上げます。

〈委員〉 5 ページの資源化率ですが実績が減少したということで、そのとおりだと感じていまして、うちの会社は、資源回収の仕事をしています。今、あらゆるところに民間会社の古紙回収のコンテナが出来ている状況です。本来なら小・中学校の資源回収に出される回収の古紙が民間会社のコンテナの中に入ってしまいうケースで、私が把握している中でも今年の 4 月から 3 つの中学で資源回収が中止になりました。なので資源化率の定義を今のまま続けていくとおそらく資源化率の向上というのは難しいと思います。民間会社が古紙を回収していますから、民間業者が回収した量を教えてくれるかどうかわかりませんが、業者に出向いて教えてもらい、数量を入れれば資源回収率の向上になるのではないかと思います。

〈事務局〉 古紙資源回収につきましてはやはり、委員が言われますように PTA や子供会や自治会の団体さんが年々、活動を縮小されている状況です。民間の「こしのえき」などが増えていっているのも理解しています。ですが民間の部分を入れ込んだらということで、我々も考えてはいますが、昨年度と今年度の比較などの部分で、今回入れてしまうと一気にリサイクル率が上がるということになりますし 28%の最終目標の整合性も民間のコンテナ分を入れての目標となると条件が変わり、おかしくなってしまう可能性もあるので、民間の古紙回収部分を入れるということは考えていません。

〈委員〉 食品ロスキャンペーンに参加させていただき、まだまだ排出量の食品が残ってしまっているという状況があります。キャンペーン活動をもう少し長くやっていただけたらと思いましたが次回、検討してい

ただけたらと思います。

〈事務局〉 値引きシールキャンペーンについては今年度は、早く実施するという
ことで考えております。詳しいことが決まりましたらお知らせをさ
せていただきたいと思います。

〈委員〉 フードドライブへの協力ということで食を必要としている方と、食
を提供してくれる会社との回収のバランスを教えていただきたいと
いうことと、提案ですが親子で SDGS ということで、若い世代のうち
から共存社会に向けた意識を育むということで、子供の頃からごみに
対する意識を持ってもらいたいと思っています。提案なのですが、で
きればさらに小学校、中学校に出向いて体験を通して意識をより高め
ることができるのではないかと考えています。もう一つ、提案ですが
先ほどから排出量の事を言われていますが、最終処分量の事で、資料
の中にゼロエミッションの推進がありますが、こういう考えが排出量
ゼロへの考え方に繋がり、これからさらに周知していけたら最終処分
量は減ると思います。

〈事務局〉 まず、1点目のフードドライブへの協力についてですが、直接の所
管課は福祉相談課となります。そちらに確認しましたところ年2回、
お中元、お歳暮の時期に合わせて8月と1月に回収を行っています。
集まった食品はまとめてフードバンク富士の国、県へ送られまして、
その後必要な人が申請を行うと期限の早いものから順に提供されて
いるということでした。磐田市の場合は、フードドライブで集まって
送る量よりもフードバンクを利用される量が多いとの事でした。

2点目のリユース対策として、ごみに対する意識を持ってもらうた
めにできれば小・中学校へ出向きということでしたが、コロナの前は
講座を開催し、今年度また SDGS 体験として夏休み期間中にコンポ
ストの講座を企画しました。生ごみが肥料になる事でごみの減量につな
がる実感ができれば直接に体感することが出来、広く循環型社会の在
り方を考えられる子供の育成に繋がればと考えて企画をしました。現
在、小学校には環境課と県の地球温暖化防止活動推進センターと連携
してアースキッズチャレンジという事業を行っています。ごみの分別
と地球温暖化防止等について考えてもらうためにクイズ、ゲーム、発
電などの体験を組み込み、楽しく環境問題を理解してできることから
やってみるということです。今後も皆さんからいただいたご意見を参

考にして可能なものは取入れていけるように考えています。最後に、ゼロエミッションですが、廃棄物に付加価値を見出して限界まで利用すると言う事で、ごみ対策課としては焼却灰、ガラス、陶器の資源化を主に検討し、これらは、現在土木、建築資材の原料として使用され再生処理しております。磐田市でも加工されたガラス砂をもらいましてリサイクルステーションの隣の公園の草木の草抑えとしてもらったものを敷いております。今後もゼロエミッションに向けまして情報収集していきたいと思っております。

〈会長〉 以上で議事は終了になります。ご協力ありがとうございました。

〈事務局〉 本日はお疲れ様でした。以上を持ちまして、令和6年度第1回審議会を終了いたします。ありがとうございました。

7 閉会